

主催 日本歴史学協会  
日本学術会議歴史学委員会 高校歴史教育に関する分科会

## 歴史教育シンポジウム

# 「歴史総合」をめぐって(2) — 中学校と高校の歴史教育を考える —

日時：2017年10月28日(土) 13:30-17:30pm  
会場：駒澤大学駒沢キャンパス1号館 1-204教場

開会挨拶：若尾政希 一橋大学教授 日本学術会議連携会員  
趣旨説明：君島和彦 東京学芸大学名誉教授 日本学術会議連携会員  
司会：中野聡 一橋大学教授 日本学術会議連携会員

日高智彦 (東京学芸大学常勤講師)

世界史論・世界史教育論の成果と課題から  
高校歴史新科目を考える

富田 武 (成蹊大学名誉教授)

ロシア革命  
『歴史総合』ではどう教えるか

倉持重男 (東洋大学非常勤講師)

新学習指導要領によって  
中学校歴史の授業はどうなるか？  
— 学校現場から考える —

閉会の挨拶 木村茂光 (東京学芸大学名誉教授・学術会議連携会員  
・日本歴史学協会委員長)

高等学校の次期学習指導要領では、必修科目「歴史総合」と選択科目「日本史探究」・「世界史探究」が新設されることになっている。高等学校の歴史教育が大きな転換点に直面している。この問題に、歴史学界からはこれまでも多方面から意見が寄せられてきたが、今回のシンポジウムでも、中学校と高校の歴史教育の望ましいあり方について、歴史教育の実践を踏まえて、積極的に提案し、議論していく。